

第 50 回「ごはん・お米とわたし」
作文・図画コンクール
宮城県募集要領

令和 7 年 7 月

宮城県農業協同組合中央会

第50回「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール募集要領

【課題】(作文・図画両部門共通)

毎日のごはんでおいしかったことや家族とのコミュニケーション、お米・ごはん食に関しての思い出や考えたことなどを素直な気持ちで自由に表現して下さい。

【応募資格】

小学校および中学校に在籍する児童・生徒。

特別支援学校の小学部、中学部に在籍する児童・生徒。

【応募規格】(枚数・大きさ)

●作文部門

1部 小学校1年生～3年生

(400字詰め原稿用紙2枚以内、またはマス目の大きい原稿用紙で800字以内)

2部 小学校4年生～6年生

(400字詰め原稿用紙3枚以内)

3部 中学校1年生～3年生

(400字詰め原稿用紙4枚以内)

●図画部門

1部 小学校1年生～3年生

2部 小学校4年生～6年生

3部 中学校1年生～3年生

B3判(364×515ミリ)、もしくは四つ切り(380×540ミリ)の市販画用紙を使用。画材は特に制限しません。

(注)地域によって多少サイズは異なります。

【応募規則】

(1)作品には、1点ごとに次の事項を記入した応募票(9ページ)をつけてください。つける位置は最後のページの裏面、図画は裏面中央とします。(8ページ参照)

①作品の題名②氏名③学校名・学年・組④学校の所在地(郵便番号・電話番号)⑤J A名

(2)作文用紙1枚目の1行目に作品の題名、2行目に学校名、学年、氏名、3行目から本文を書き出してください(学校名、学年、氏名が3行になる場合は4行目から本文を書き出してください)。

(3)作文は本人による直筆を原則とし、パソコンなどにより作成した原稿は応募不可とします。

ただし、視覚・手に障害のある児童・生徒については、その旨を特記事項として応募票の欄外に記述した場合のみ、パソコンなどで作成した原稿の応募を認めます。

(4)作文・図画とも課題にそった作品を対象とします。

(5)応募は本人の未発表でオリジナルの作品に限ります。また、他のコンテストに応募していない作品に限ります。他人の写真や作品を模写・模倣したものは応募できません。著作権、商標権、肖像権など、他者の権利を侵害する作品は応募できません。

(6)ひとりで1部門に2点以上の応募はできません。

(7)合作は応募できません。

(8)図画作品でスローガンや文字を入れたポスター的なものや台紙に貼ったものは応募できません。

※審査基準の詳細は4,5ページ参照。

(9)学校で応募の際は、別添の応募者一覧表(7ページ)を必ず添付してください。

(10)今年度より出品者への作品の返却は行いません。

ただし、県優秀賞作品については、全国審査会の後、学校を通じて返却します。(令和8年2月予定)

(11)作品に応募することによって、応募作品をJAグループ(後援・協賛団体を含む)の広報活動および諸事業活動のために利用することに予め承諾したものとします。その際、作文の部分的な抜き出しや、図画のサイズの変更・トリミングなど一部改変させていただく場合があります。印刷等の都合上、実際の作品と色が多少異なる場合があります。

(12)記入いただいた個人情報、入賞通知・発表や表彰式などのほか、県名、学校名、学年、氏名等の一部情報についてはプレスリリース等のメディアへの発表、JAグループ(後援協賛団体を含む)の広報媒体(入賞作品集やホームページ等)への露出や作品展示などの広報活動および諸事業活動で公表・使用することがあります。上記および、法令等により開示を求められた場合を除き、承諾なくコンクール関係者以外の第三者に個人情報を提供することはありません。

(13)作品に応募することによって、上記の個人情報の使用に承諾したものとします。

(14)入賞通知後でも、当該入賞作品がすでに発表済みやオリジナルでない作品と判明した場合、応募規則への違反や、虚偽の報告が判明した場合は受賞を取り消します。

(15)作品送付締切日

令和7年9月5日(金)必着

(16)送付先

〒981-3132 仙台市青葉区上杉1-2-16 J Aビル5階

(株)全農ビジネスサポート東北支店内

「作文・図画コンクール」係

TEL. 022-398-7205

【審査員】(予定)

[審査委員長]

宮城県仙台教育事務所

◇作文部門

日本農業新聞東日本統括支所東北支所

家の光協会

宮城県農業協同組合中央会

◇図画部門

宮城県仙台教育事務所

農林中央金庫仙台支店

全国農業協同組合連合会宮城県本部

全国共済農業協同組合連合会宮城県本部

日本農業新聞東日本統括支所東北支所

家の光協会

宮城県農業協同組合中央会

【賞】(予定)

<優秀賞>

作文部門各部ごとに3名(計9名)

図画部門各部ごとに3名(計9名)

賞状と副賞(記念品)を贈るとともに

全国コンクール審査へ応募します。

<優良賞>

作文・図画部門 必要に応じ若干名

賞状と副賞(記念品)を贈ります。

【審査日程】(予定)

令和7年10月10日(金)

【入賞発表】(予定)

令和7年10月15日(水) JA宛通知

(日本農業新聞県内版にも掲載予定)

【主催・協賛】

●主催

各農業協同組合

宮城県農業協同組合中央会

全国農業協同組合中央会

●協賛(予定)

農林中央金庫仙台支店

全国農業協同組合連合会宮城県本部

全国共済農業協同組合連合会宮城県本部

日本農業新聞東日本統括支所東北支所

家の光協会

【提出・添付資料】

作品の応募にあたっては、次のものを作成し提出してください。（様式別添をコピーして使用してください。）

●応募者一覧表

6 頁（記載例）、7 頁（提出用）

●個人作品貼付用 応募票

8 頁（記載例・添付見本）、9 頁（印刷用）

【問合せ先】

お問い合わせは、下記の J A（農業協同組合）又は J A 宮城中央会「作文・図画コンクール」係（TEL:022-264-8245）にご連絡下さい。

< J A 問い合わせ先 >

J A 名	担当部署名	電話番号 (TEL)	郵便番号 (〒)	住 所
J A 仙 台	営 農 企 画 課	022(357)0196	983-0821	仙台市宮城野区岩切字昭和東112番地3
J A みやぎ仙南	く ら し 相 談 課	0224(55)1265	989-1622	柴田郡柴田町西船迫一丁目10番地の3
J A 古 川	組 織 広 報 課	0229(87)8051	989-6266	大崎市古川富長字五右エ門6番2号
J A 加美よつば	総 務 課	0229(66)1222	981-4122	加美郡色麻町四竈字楓木町14番地の1
J A 新 み や ぎ	組 織 広 報 課	0228(25)9031	987-2233	栗原市築館字照越大ケ原43番地1
J A みやぎ登米	総 務 課	0220(23)8011	987-0601	登米市中田町石森字駒牽265番地の1
J A いしのまき	営 農 企 画 課	0225(22)1183	986-0815	石巻市中里五丁目1番12号

【作品送付先】

作品の送付は、「J A 管内一覧表」を参考に、学校にて①「応募票」の記入、②「応募票」を作品へ添付の上、下記の「作文・図画コンクール」係宛に送付して下さい。

各 J A での取りまとめは今年度より廃止しました。

送料は送り主様にてご負担くださいますようお願いいたします。

〒981-3132 仙台市青葉区上杉 1-2-16 J A ビル 5 階 TEL. 022-398-7205

（株）全農ビジネスサポート東北支店 内

「作文・図画コンクール」係

（※）なお、本要領等については、J A 宮城中央会のホームページ（<http://www.ja-mg.or.jp/>）に掲載していますので、ご覧下さい。

本コンクールの審査基準は以下の通りです。応募の際にはご注意ください。

作文部門審査基準

“上手な作文”よりも下記の点で“よい作文”を評価する。

1. 課題に沿った作品であること。
2. ごはん・お米に関わる事柄や問題点を、年齢相応に正しく理解しており、かつ、年齢相応の言葉で表現していること（子どもはよく難しい言葉を使いたがるが、年齢に馴染まないものは、好ましくない）。
3. 問題のとらえ方や、考え方が素直であり、かつ自分の意見・感想を率直に述べていること。
4. 自分の生活経験がにじみ出ていること（抽象的、一般的なことのみに終始するものは好ましくない）。
5. 作品全体に希望や明るさが感じられること。
6. 規定の枚数であること。
7. 誤字、脱字がなく、その他の表記（かぎカッコや句読点など）も正確であること（誤字、脱字、添削跡などについては減点の対象になります。必要に応じて、本人に差し戻し、清書させてください）。
8. 作文用紙は1枚目の1行目に作品の題名、2行目に学校名、学年、氏名、3行目から本文を書き出す（学校名、学年、氏名が3行になる場合は4行目から本文を書き出す）。

図画部門審査基準

<主題のとらえ方について>

1. 子どもらしい発想を尊重する。子どもは時流に敏感なので、のびのびした明るく楽しいアイデアがあるものがよい。
2. 理解させるためディスカッションすること。
3. 宿題的な押しつけで描かせないこと。

<基準について>

(次のようなものは審査の対象外になります)

1. ごはん及びお米を主題としていないもの。
2. スローガンや文字を入れたポスター的なもの。
3. おとぎ話や童話をモチーフにしたもの。
4. 漫画やアニメなどのキャラクターを挿入したもの。
5. おむすびやお米に顔や手・足の出ているもの（擬人化したもの）、および実在しないもの（空想やファンタジー性のあるもの）。
6. 石、木片などを貼りつけたもの。
7. 紙の寸法が極端に大きかったり小さいもの。
8. 紙がボール紙のように厚かったり、半紙のように薄いもの。
9. 台紙に貼って応募したもの。
10. メーカー名や企業名、ロゴマークなどを使用したもの、および宣伝になる恐れがあるもの。
11. パソコンなどでデジタル的に描かれたもの。

ただし、キャンバスボードに油絵で描いたもの、あるいは石版画、シルクスクリーン、木版、スクラッチボードなどを利用したものは基準内として審査対象とします。

また、いわゆる「切り絵」や「貼り絵」についても審査対象とします。

12. 道路交通関連法規などへの違反が疑われるもの。

(例.トラクターの乗車定員オーバー（2人乗り）、乗車装置でない荷台に乗った姿が描かれたもの など)

応 募 者 一 覧 表（記載例）

学校名 ○○市立・町立・村立・県立・国立・私立・その他 ○○小・中学校

学校電話番号（０２２－１２３－４５６７） 担当教諭名（御飯 太朗）

扱いＪＡ名（○○農業協同組合）

※ＪＡ名はP10の「ＪＡ管内一覧表」を参照

作文部門		学年	氏 名	図画部門		学年	氏 名
1	作文１部	1年	宮 城 一 郎	1	図画１部	1年	宮 城 花 子
2	作文１部	2年	宮 城 二 郎	2	図画１部	3年	宮 城 松 子
3	作文１部	3年	宮 城 三 郎	3	図画２部	4年	宮 城 竹 子
4	作文２部	4年	宮 城 四 郎	4	図画２部	6年	宮 城 梅 子
5	作文２部	5年	宮 城 五 郎	5			
6	作文２部	6年	宮 城 六 郎	6			
7				7			
8				8			
9				9			
10				10			
11				11			
12				12			
13				13			
14				14			
15				15			
16				16			
17				17			
18				18			
19				19			
20				20			
21				21			
22				22			

一覧表、応募票データはＪＡ宮城中央会のHP（<http://www.ja-mg.or.jp/>）にも掲載しています。

(提出用) 応募者一覧表

学校名 _____ 市立・町立・村立・県立・国立・私立・その他 _____ 小・中学校

学校電話番号 (_____) 担当教諭名 (_____)

扱いＪＡ名 (_____ 農業協同組合)

※ＪＡ名はP10の「ＪＡ管内一覧表」を参照

作文部門		学年	氏 名	図画部門		学年	氏 名
1				1			
2				2			
3				3			
4				4			
5				5			
6				6			
7				7			
8				8			
9				9			
10				10			
11				11			
12				12			
13				13			
14				14			
15				15			
16				16			
17				17			
18				18			
19				19			
20				20			
21				21			
22				22			

個人作品貼付用 応募票

記入しないこと

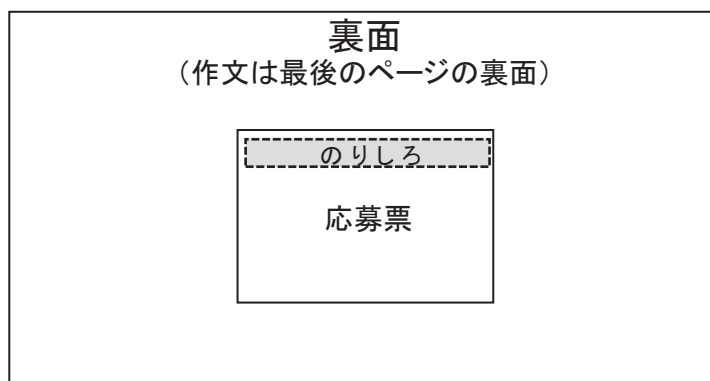
作品番号	都道府県コード 04	作品番号	部門 作文・図画
フリガナ(※)	オバアチャント オコメ		
作品の題名	おばあちゃんとお米		
フリガナ	ミヤギ	タロウ	性別
氏名	宮城	太郎	男・女
フリガナ	〇〇シリツ〇〇小学校		学年
学校名	〇〇市立〇〇小学校		1 年 1 組
学校所在地	〇〇市〇〇1丁目〇〇番地		
電話番号	123-456-7890		
当該JA	J A O O		

(注) 必要事項を記入の上、作文は最後のページ裏面中央、図画は作品裏面中央に、
下図”のりしろ”部分のみ貼付(のり付け)してください。

(太い枠で囲まれた部分は必ずご記入ください)

(※) 「当該JA」名を必ず記入願います。JA名はP10「JA管内一覧表」を参照ください。

[貼付見本]



※本コンクールの作品応募に際して提供された個人情報、承諾なく第三者に提供しません。ただし、入賞者については入賞発表や表彰式などのほか、主催者等の広報媒体(入賞作品集やホームページ、みやぎ米カレンダー等)への露出や作品展示などの広報活動および諸事業活動で公表や使用することがあります。

個人作品貼付用 応募票

作品番号	都道府県コード 04	作品番号	部門 作文・図画
フリガナ			
作品の題名			
フリガナ			性別
氏名			男・女
フリガナ			学年
学校名	学校		年組
学校所在地			
電話番号			
当該JA			

個人作品貼付用 応募票

作品番号	都道府県コード 04	作品番号	部門 作文・図画
フリガナ			
作品の題名			
フリガナ			性別
氏名			男・女
フリガナ			学年
学校名	学校		年組
学校所在地			
電話番号			
当該JA			

JA 管内一覧表

応募票の当該 JA 欄に JA 名を記入して下さい。

● 仙台農業協同組合（JA 仙台）

仙台市、塩竈市、岩沼市、名取市、多賀城市、亘理町、山元町、松島町、七ヶ浜町、利府町

● みやぎ仙南農業協同組合（JA みやぎ仙南）

白石市、角田市、蔵王町、七ヶ宿町、大河原町、村田町、柴田町、川崎町、丸森町

● 古川農業協同組合（JA 古川）

大崎市古川・三本木・伊場野

● 加美よつば農業協同組合（JA 加美よつば）

加美町、色麻町

● 新みやぎ農業協同組合（JA 新みやぎ）

栗原市、気仙沼市、南三陸町、登米市津山町、富谷市、大和町、大郷町、大衡村、大崎市
岩出山・鳴子温泉・鹿島台・松山・田尻、美里町、涌谷町

● みやぎ登米農業協同組合（JA みやぎ登米）

登米市（津山町を除く）

● いしのまき農業協同組合（JA いしのまき）

石巻市、東松島市、女川町

[添付資料]

第49回「ごはん・お米とわたし」
作文・図画コンクール
宮城県優秀賞作品

令和7年7月

第４９回「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール宮城県審査会
作文部門 審査結果

【１部（小学校１年～３年）】

学年	氏名	学校名	題名	J A
１年	渡辺 結衣 ^{ゆい}	石巻市立稲井小学校	「おにぎりやさん」	J A いしのまき
２年	星 かはな	登米市立新田小学校	「おかあさんのまほうの チャーハン」	J A みやぎ登米
３年	石森 絢衣 ^{あひ}	柴田町立東船岡小学校	「大好きなしおむすび」	J A みやぎ仙南

【２部（小学校４年～６年）】

学年	氏名	学校名	題名	J A
４年	佐々木 珀 ^{はく}	東松島市立大曲小学校	「ぼくとお米と宮城県」	J A いしのまき
５年	齋田 陽葵 ^{ひまり}	美里町立南郷小学校	「ごはん・お米とわたし」	J A 新みやぎ
６年	阿部 新也 ^{しんや}	石巻市立和湊小学校	「米兄ちゃん」	J A いしのまき

【３部（中学校１年～３年）】

学年	氏名	学校名	題名	J A
１年	早坂 蒼大 ^{そうた}	加美町立鳴峰中学校	「お米から学んだこと」	J A 加美よつば
２年	山下 瑛士 ^{あきと}	岩沼市立岩沼西中学校	「米不足から考えたこと」	J A 岩沼市
３年	堀内 津麦 ^{つむぎ}	仙台市立 仙台青陵中等教育学校	「私のヒーロー」	J A 仙台

※個人情報につき取り扱い注意願います。

おにぎり屋さん

石巻市立稲井小学校 1 年 渡辺結衣

わたしは、あさにおうちでおにぎりやさんをひらきます。おきゃくさんはかぞくのみんなです。

めにゅーは、とりそぼろ、しゃけ、うめぼし、おかか、こんぶ、のりのつくだになどたくさんあります。にんきのめにゅーはとりそぼろとしゃけのくみあわせです。

おにぎりをつくるときは、おいしくなれ、とおもいながらやさしくにぎります。

おみせがかいてんすると「おにぎり屋さん、とりそぼろのおにぎりおねがいしまーす。」とちゅうもんがきました。すると「パパにもとりそぼろおにぎりちょうだい。」や「わたしものりのつくだにおにぎりつくってー。」とおにぎりやさんがいそがしくなります。

わたしは、いそいでちゅうもんのおにぎりをにぎります。できあがったおにぎりはみんなに「おいしいなあ。」「ゆいちゃんのにぎってくれたおにぎりはあまくておいしいな。」「にぎってくれたおにぎりをたべたらげんきになれるよ。」といいながらたべてくれます。

そういわれると、とてもうれしくて、もっとたくさんのおにぎりをつくりたくなります。

これからめにゅーをふやしたり、かたちをはーとやほしのかたちなどにして、いろいろなおにぎりをもっともったかんがえて、かぞくのみんなによろこんでもらえて、げんきになってもらえるおにぎりやさんをしていきたいとおもいます。

おかあさんのまほうのチャーハン

登米市立新田小学校 2 年 星かはな

わたしは時どきごはんでたべたいものがきまらないときがあります。きまらないところの中がもやもやとしてしまいます。こういうときにたべたくなるのが、おかあさんのチャーハンです。

おかあさんのチャーハンは、きざんだネギとたまご入ったシンプルなチャーハンです。これをたべるといつも口から「おいしい。」という言ばがでます。そして、ところの中のもやもやがなくなってほっくりとやわらかくなって、つついわらってしまいます。

わたしは、いつの間にかおかあさんのチャーハンをまほうのチャーハンとよぶようになっていました。

おかあさんのチャーハンはネギをあぶらでしっかりいためることがポイントです。わたしはこの作ぎょうを時どき手つだいます。あじつけは、しおとりがらスープのこなです。しょっぱくならないように少しずつ入れます。ふんわりたまごにすることもポイントです。

みんなでいっしょにたべることもところがほっくりやわらかくなるまほうの一つです。

わたしもいつか、自分のこどもができたらかあさんのまほうのチャーハンを子どもにもたべさせてあげたいです。

※原文では「時きどき」となっていますが、「時どき」と表記しております。

大好きなしおむすび

柴田町立東船岡小学校 3 年 石森絢衣

今年も夏休みがやってきた。わたしは、ずっと前から楽しみにしていた。なぜなら、ばあばの家に遊びに行けるからだ。畑で野菜を取ったり、湖で水遊びをしたり、大自然の中でお昼ねをしたり、いつもできないことが好きなだけできる。しかし、何よりも楽しみにしていたことは、ばあばのにぎるしおむすびを食べることだ。ばあばのしおむすびは、いつも食べているおにぎりとはくらべものにならないくらいおいしい。お米はつやつやでふっくらしていて、かめばかむほどあまくなって、どこでも食べられる。本当にふしぎだ。

ばあばの家につくと、さっそくばあばに、「何か食べたいものはあるかい。」と聞かれた。わたしは、待ってましたと言わんばかりに、

「しおむすび」

と、元気よくリクエストした。すると、ばあばは、

「ええ。そんなんでいいの。」

と言ってわらった。ついでに、ばあばに聞いてみた。

「どうしてばあばのしおむすびは、こんなにおいしいの。」

すると、ばあばは、

「それはね、みんなでいっしょに食べるからじゃないかな。大家族で食べる
と何でもおいしい。あとはじいじが米作りをがんばっているからだね。」

と教えてくれた。色々話を聞くと、米作りには、八十八の手間がかかると昔から言われていて、じいじはそれを大切にし、一粒一粒がおいしくなるようにと育てているのだそう。また、たくさん取ろうとせず、家族みんながおいしいと言ってくれば、それが最高のお米なんだと言っていた。それを知ったら、これまで以上にしおむすびがとくべつに感じて、ばあばのしおむすびがもっと大好きになった。



ぼくとお米と宮城県

東松島市立大曲小学校 4 年 佐々木珀

ぼくは、ごはんが大好きです。たきたてのごはんをそのまま食べるのも好きだし、しゃけや食べるラー油をかけて食べるのも大好きです。1 ぱいじゃ足りず、おかわりすることもあります。

ぼくの家では、登米のおじいさんとおばあさんの田んぼで作っている「ひとめぼれ」を食べています。もちもちしていて、少しあまくておいしいなと思います。

ごはん好きのぼくにとって、気になるイベントがあり、お母さんに連れて行ってもらいました。それは「和食展」です。多賀城の東北歴史博物館で行われていました。

はじめにおどろいたことは、日本の主食はお米だけど、世界にはお米以外にとうもろこしや豆を食べる国もあるということです。また、お米を食べる国でも色や形が、ぜんぜんちがうことも初めて知りました。お母さんは、子どものお米がとれない年があって、その時に外国のお米を食べたそうです。だけど、固くてパラパラしていて、あまりおいしくなかったそうです。ぼくはそれを聞いて、やっぱり日本のお米が一番なんだなと思いました。

「和食展」を見ていて、うれしかったことがあります。それは、日本の料理のおすしが日本だけでなく、世界中で食べられていることです。日本で食べられているようなマグロのにぎりやぼくの大好きなサーモンのにぎりもあれば、中にアボカドが入っていてごはんのまわりにサーモンがまいてあるまき物もありました。世界にはいろんな人がいるけれど日本のおすしが愛されていて、おすしにはやはりお米が使われていることも知りました。

さて、ぼくの家周りの田んぼは今、きれいな緑色で、いねが真っ直ぐに空を向いて育っています。台風が近づくことでいねが心ばいですが、毎年秋になると黄色いほがたくさん付きます。また今の時期、ぼくの家には黄緑色の小さいニホンアマガエルが大量にやって来ます。ぼくもお母さんも苦手ですが、カエルはいねの害虫を食べてくれる大切な生き物だそうです。だからぼくは、おいしいお米ができるように、ニホンアマガエルを大切にしています。

そして、宮城県には、世界農業遺産「大崎耕土」があります。昔から続く農業と文化や生き物などが一体となった世界的に重要な仕組みがみとめられているそうです。さらに、宮城県は、日本の中でも軟水であるそうです。だから、宮城県はおいしいお米がいっぱいとれるのだと思います。

ぼくは、宮城県に生まれ育ったことがよかったと思います。これからも自然を大切に、宮城のお米をたくさん食べたいと思います。そして、宮城、日本のお米を世界中の人に食べてもらえるようにアピールしていきたいと思います。

※原文では漢数字表記ですがアラビア数字表記にしております。

ごはん・お米とわたし

美里町立南郷小学校 5 年 齋田陽葵

齋田家は、稲作農家です。私が生まれたころからすでにお父さんは自分でお米を育てていました。友達のお父さんとはちがって、土日休みは無いし、ゴールデンウィークですら休んでいるお父さんを見かけることはありません。雨の日は誰よりもおそくに起きてくるお父さん。そうかと思えば、夏の暑い日は朝三時に起きて遠くの田んぼに農薬散布をしに行きます。最近の暑さで熱中症にならないか、私は毎日心配です。

たまにお父さんは私にお米の話をします。

「今日のご飯の品種は何でしょう？」

食卓で突然クイズが始まります。最初はお米の特性がよく分かりませんでした。でも、最近では、食感とつぶの大きさに家で育てている四つの品種は当てられるようになってきました。

私が一番好きな品種は、ササニシキです。大好きな手巻きずしをするとき、必ずお母さんはササニシキを炊きます。お母さんいわく粘りも少なく、柔らかい食感はササニシキが一番だそうです。その話を聞いたときに、私は思い出すことがあります。

それは、秋の新米販売会で両親のお手伝いをしたときのことです。私は試食のお米を持って、

「いらっしゃいませ。おいしいお米はいかがですか。」

とたくさんの人に声をかけていました。四種類のお米を食べ比べてもらった時に、おいしいと思う米が人それぞれちがっていました。「だて正夢」はもっちり系が好きな人に好評でしたが、あっさり系が好きな人からは、大ブーイング。日本の人は、お米について語れる人がこんなにもいるんだと私はおどろきました。他にも私はたくさんの人と話しました。その中である方と出会いました。その方は、私の家のお米を食べると、

「昔、死んだおじいちゃんが作って送ってくれたお米のなつかしい味がする」

と言ってくれました。そして、そのおじいちゃんとの思い出話を聞かせてくれました。もう亡くなってしまった人には会えないけれど、ふとしたしゅん間に、よみがえる思い出の味もあるということを知り、すてきな話に心が温くなりました。

両親の姿を見て、農業ってすごく大変な仕事だと思っていました。でもその分買ってくれる人との交流は楽しく、やりがいのある仕事だと思いました。

そんな農家さんのことを思いながら私は今日も給食を味わって食べ、たくさんおかわりしようと思います。

米兄ちゃん

石巻市立和渕小学校 6 年 阿部新也

僕は三人兄妹の長男だ。姉が一人、妹が一人いる。でも兄妹の中で、男は僕だけだった。だから昔から兄がほしいと思っていた。だけど、よく考えたら「兄」はいた。

僕の兄は「米」だ。米兄ちゃんはいつもよりそってくれる。僕が前、母と大喧嘩をして泣きながら白飯を食べていると、なんだか、心がポカポカして、よりそってくれているような気がした。僕が野球の練習に行く前、おにぎりを食べると、パワーをくれる。まるで「がんばってこいよ！」とでも言うように。そして練習が終わって帰ってきて夕飯で白飯を食べると、「おかえり、がんばったな。」とでもいうように、運動をして失った分のパワーをくれる。

米兄ちゃんは、つらいことがあったら、よりそってくれる。運動をする前、した後は、パワーをくれるやさしくて、魔法みたいなことができる、自まんの兄ちゃんだ。

お米から学んだこと

加美町立鳴峰中学校 1 年 早坂蒼大

ぼくは、毎年おいしいご飯を食べることができています。ぼくの祖母の実家でお米を作っていて、家族で農作業を手伝い、お礼としてお米をもらうことができるからです。ぼくの家のお米ではないけれど、自分も一緒に農作業の手伝いをしてできたお米なのでおいしいと感じられます。

初めての米づくりを手伝った時、はとこ達と田植機に乗ったり、泥だらけになりながら自分の手で植えたりするのがとても楽しかったことを覚えています。そして、毎年田植えの季節が待ち遠しくてたまりませんでした。それは中学生になっても変わらず、待ち遠しい、早く春が来ないかな、という気持ちになります。幼稚園くらいのころは、みんなに会えて楽しい・面白いという気持ちがメインで、作業より遊びが優先だったような気がします。

けれど、小学校三年生の社会の時間に米を作るためには土作り、種・苗の準備、田植え、管理・除草、収穫・乾燥の手順があることを知り、さらに田植えひとつの工程をとっても田起こし、入水、代掻きなどの手順があるということを学びました。祖母との何気ない会話のなかで、お米は漢字のとおり八十八回の手間がかかることに驚きました。米づくりは、簡単ではなく、何人もの人の手がかかり、何か月もかかる仕事だと小学生のころに知ることができました。その時から、今以上に食べ物を大切に、作ってくれた人に感謝して食べようという気持ちになりました。

給食の時間に、ごはんを「もうお腹いっぱい」と言って残したりする人がいます。小学生の頃、ぼくもそうでしたが農家の人が一生涯懸命作ったのにもったいないと思うので中学生になってからは残さず食べています。給食のごはんを、茶わんぽぼ一杯分残している人も見かけて悲しい気持ちになります。ですが全員が同じような考え方をしているとは限りません。

お米だけでなく、野菜などすべての食材に言えることですが、何人もの人が手間をかけて、長い時間をかけて作ったものです。それを誰かと協力して伝えられるような方法があればいいと思います。そして、それを伝えることができれば、残されたり捨てられたりしてしまう食べ物が減ると思います。そして、このような考え方を次の世代にもつなげていくことができるようになると思います。すべての人が米づくりの手伝いをしたり、農業に関わっている人の話を聞いたりすることは難しいと思います。なので、実際に感じることはできないと思いますが、聞いて覚えるということはできると思います。なので、自分なりにまとめたりし、他の人にも伝え、次の世代につなげるという活動に関われたらいいと思います。



米不足から考えたこと

岩沼市立岩沼西中学校 2 年 山下瑛士

僕は、ご飯が大好きだ。朝食は、必ずご飯だし、米がなくなるなんて、一度も考えたことがなかった。ところが、ニュースでスーパーのお米売り場から品物が全くない映像が流れていた。僕は、都会のこのように思え、米所といわれている、ここ宮城県ではあり得ないと思って見た。

ところが数日後、僕は家族とスーパーに行き、お米売り場を通りかかると、いつもの米袋に入った三十キログラム入りのお米だけではなく、十キログラムの袋さえも全くなかった。あのニュースは、僕の住んでいる所にも起きていることに、ようやく気付いた。

僕は、なぜお米が不足しているのかを調べてみた。理由は、大きく二つあった。一つ目は、昨年の猛暑だ。猛暑により収穫量が減ったため、市場に出回る米の量が減っているようだ。二つ目は、新型コロナウイルスが第五類に移項し、外食の機会が増え米の消費が増えているということだった。また、海外からの旅行者が増えインバウンド効果により、より米の消費量が増えていることが分かった。

僕は、昨年の収穫量が平年並であったならここまで米不足にはなっていなかったのではないかと思った。しかし、今年の七月も平年より二度程気温は高かった。これでは、今年の米の収穫量も心配だ。宮城県で一番多く生産されている品種は、「ひとめぼれ」だ。「ひとめぼれ」は、三十年前に誕生した品種だ。それ以前は「ササニシキ」という品種が主流だったが、宮城県特有のやませにより収穫量が少ない年があり、冷害に強く、育てやすい「ひとめぼれ」が開発された。僕は気候に合わせた品種を育てているのに米不足になっているところに疑問を感じた。冷害どころが、今は猛暑に対する必要が出ている。このことは、宮城に限ったことではない。JA のホームページには、品種改良だけではなく、栽培方法の工夫についてもものっていた。農家の方やそれを支える JA などの方々の努力と工夫があることを知り、僕は常に食べているお米をもっと大切に食べなければいけないと思った。

もう一つの米不足の要因である消費の急増についても、僕はなぜ外食が増えたからといって、米が不足するのか、疑問に思った。外国人旅行者の急増により、米不足になったことは、理解できる。しかし、元々日本人が米を食べることを基本としていたなら、家庭でご飯を食べるか、飲食店でご飯を食べるかの違いはあるにしても、ここまで米不足になったのだろうか。僕は、日本人の主食の変化について、調べてみた。すると、1962 年をピークに米食の割合は減少し、米食は約四割、パン食が約二割、麺類が約一割強ということだった。食の多様化もあるが、日本の和食の良さは、2013 年に、ユネスコの無形文化遺産に登録され、その価値は世界中から認められている。僕は、皆がもっとご飯を常日頃から食べ続けていれば、米の栽培面積も確保され、それによって生産量も安定し、米の収穫量は増えていくと思う。

ご飯の良さ、それは何といってもどんなおかずにも合うことだ。口中調味という言葉がある。かむことで、生まれる味の変化を口の中で楽しむ食べ方のことだそうだ。これは、ご飯にしかない楽しみ方だと思う。

今、水田の稲は水穂し、少しずつ実りが感じられるようになってきた。僕は、今からつやつやと光り輝き、ほんのりと甘い匂いに包まれた新米を食べられる日を心待ちにしている。皆で、日本の食文化、米を食べ続け、消費を維持し、安定した米の流通が続くことを心から願っている。

※原文では西暦は漢数字表記ですがアラビア数字表記にしております。

私のヒーロー

仙台市立仙台青陵中等教育学校 3 年 堀内津麦

泣いたときに食べるお米が美味しいのはなぜだろう。小さいころ、兄との喧嘩で泣いてしまい、意地を張って

「ご飯食べない！」

と言ったことがあった。でもやっぱりおなかが空いてリビングに行くと、母がほかほかの白米をお茶碗に盛ってくれた。そのときのお米は、私をほっこり包んでくれるような優しい甘さがあり、元気を与えてくれた。

私は誕生日が近づくと、よく祖父母の家に行く。祖父母の家の近くは田んぼがたくさんあって、九月ごろにはきれいな黄金色の絨毯が辺り一面に広がっているのだ。その景色を見ると、自然から誕生日プレゼントをもらったような気持ちになる。でも、今年はそのプレゼントがもらえないかもしれない。

七月中ごろ、新聞で今年のお米に危機が訪れていることを知った。原因は去年の猛暑によりお米が不足していること。また、インバウンド回復などにより需要と供給のバランスが崩れていることなどが挙げられる。スーパーに並ぶ宮城自慢のお米は値段が上がり、品薄状態だった。今まで見たことがない光景に驚いていると、母は「平成の初めごろに冷夏でお米が全然とれなかったときがあったのよ。代わりにタイ米を食べていたけれど、日本のお米の方が美味しかったな」

と言った。令和の米騒動ともいわれている今、日本米の代わりにタイ米を食べなくてはいけない日は来るのだろうか。

それだけではない。大阪に住む親戚からは地震対策のため、備蓄品を買おうとスーパーに行ったら、お米が売り切れていたという話を聞いた。近年は異常気象によるお米への深刻な被害目立つようになってきた。お米がすぐそばにあるという当たり前が当たり前でなくなる未来がきてしまうかもしれない。そんな未来は考えただけでもぞっとしてしまう。

私が今、お米を食べることが出来ているのは、作り手の方々のおかげだ。担い手不足という問題を抱え、異常気象に悩まされるも、私たちに美味しいお米を届けてくれている。そんな作り手の方々の想いがつまったお米、一粒一粒に感謝して食べなければならない。

私にとってお米はヒーローである。どんなときも常に私たちの生活を支え、時には困難を乗り越える力をくれる。そう思うと、泣いたときに食べるお米が美味しいのはヒーローが元気をくれるからかもしれない。この先の人生、大きな壁にぶつかる場面はいくつもある。でもきっと、そのたびにほかほかのお米が私の背中を押してくれるだろう。今日も食卓にはお米が並ぶ。いつも元気をくれるヒーローに感謝して「いただきます。」

第４９回「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール宮城県審査会
図画部門 審査結果

【１部（小学校１年～３年）】

学年	氏名	学校名	題名	J A
１年	小林 みつ 美月	石巻市立蛇田小学校	おにぎりピクニック	J Aいしのまき
２年	勝山 ひなの	登米市立新田小学校	おにぎりとなかよし	J Aみやぎ登米
３年	千葉 さな 咲奈	登米市立加賀野小学校	家族みんながすきなごはん を食べているところ	J Aみやぎ登米

【２部（小学校４年～６年）】

学年	氏名	学校名	題名	J A
４年	佐藤 ここ 心春	名取市立館腰小学校	おなかいっぱい 幸せいっぱい家族ごはん	J A名取岩沼
５年	遠藤 茜	涌谷町立月将館小学校	家の農作業の風景	J A新みやぎ
６年	阿部 まり 真梨那	登米市立南方小学校	いっしょに食べるとおいしいね	J Aみやぎ登米

【３部（中学校１年～３年）】

学年	氏名	学校名	題名	J A
１年	どうが 堂賀 いち 衣智	石巻市立稲井中学校	おばあちゃんのお米	J Aいしのまき
２年	大森 こう 康大	石巻市立青葉中学校	お米と笑顔の僕	J Aいしのまき
３年	遠藤 みそ 美空	蔵王町立円田中学校	私の宝物	J Aみやぎ仙南

※個人情報につき取り扱い注意願います。



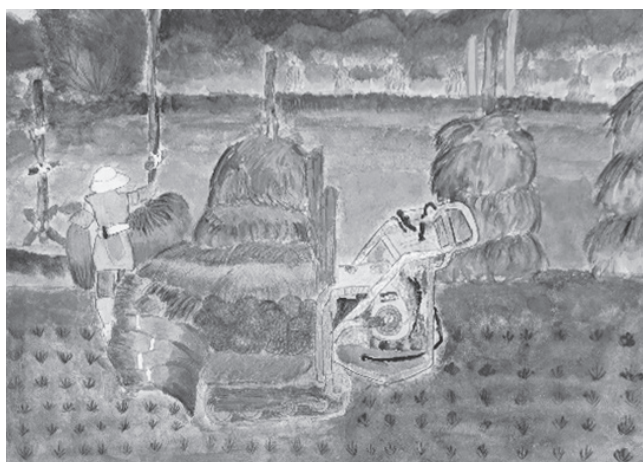
おにぎりピクニック
石巻市立蛇田小学校 1年 小林 美月

おにぎりとなかよし
登米市立新田小学校 2年 勝山 ひなの



家族みんながすきなごはん
を食べているところ
登米市立加賀野小学校 3年 千葉 咲奈

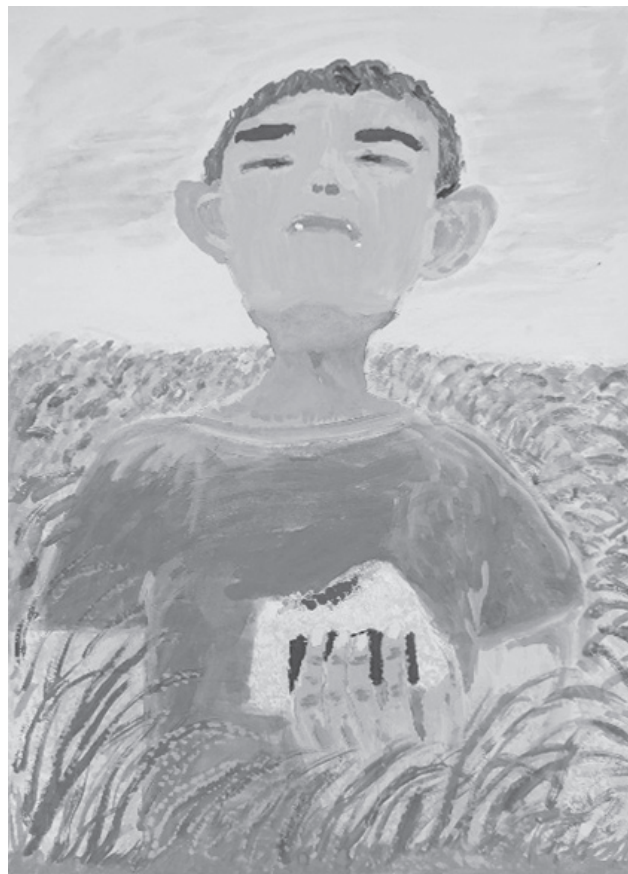
おなかいっぱい
幸せいっぱい家族ごはん
名取市立館腰小学校 4年 佐藤 心春



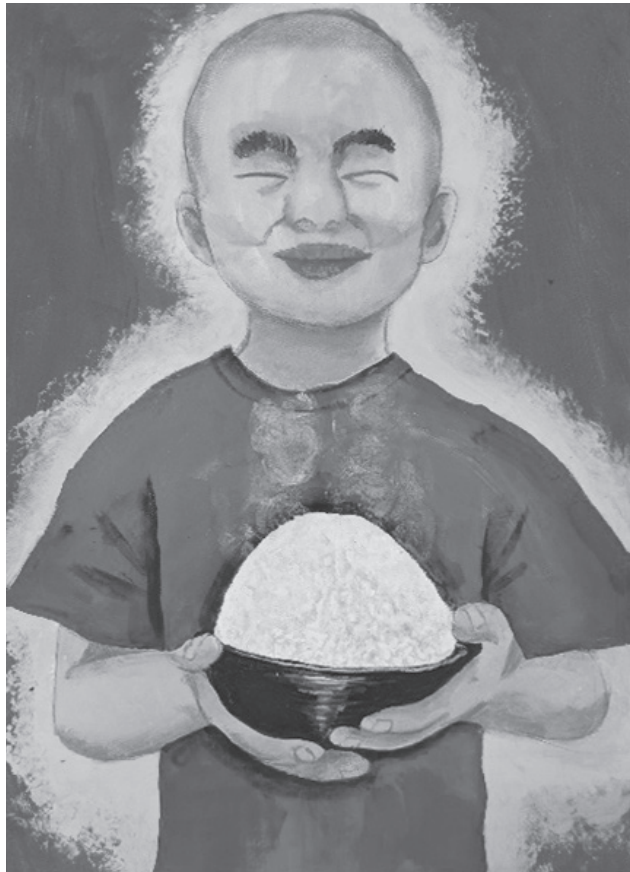
家の農作業の風景
涌谷町立月将館小学校 5年 遠藤 茜



いっしょに食べるとおいしいね
登米市立南方小学校 6年 阿部 真梨那



おばあちゃんのお米
石巻市立稲井中学校 1年 堂賀 衣智



お米と笑顔の僕
石巻市立青葉中学校 2年 大森 康大



私の宝物
蔵王町立円田中学校 3年 遠藤 美空

